

エコドライブの啓発

エコドライブの普及・啓発

■エコドライブの普及・啓発

【継続】交通政策部

2014年度（平成26年度）の我が国における温室効果ガス排出量のうち、運輸部門からの排出は17.2%であり、そのうちの50.2%が自家用車によるものです。

しかし、わたしたちが環境問題を考えた時に、便利な自動車の存在を完全に否定することは非現実的です。そこで、自動車の利用にあたっては環境に配慮した方法を身に付け、実践することが重要です。

気軽に実行でき、効果を実感できる交通分野の環境対策として、中国運輸局ではエコドライブを推進しています。



【27年度実績】

岡山運輸支局は10月24日（土）、一般社団法人日本自動車販売協会連合会岡山支部・岡山県軽自動車協会との共催により、「エンジョイ・エコドライブ・おかやま」を開催しました。58名の参加者が、販売店の用意した20台の新車で、観光とドライブを組み合わせたイベントを楽しみました。

また、中国運輸局では広島運輸支局を会場に、座学で得た知識を走行で実践する「エコドライブ講習会」を、日本自動車連盟（JAF）との共催により、11月7日（土）に開催しています。



【27年度実績に対する評価】

省エネルギーや、自家用車に過度に依存した交通行動の見直しについて考えていただくきっかけとなるよう、エコドライブをできるだけ多くの方々にご理解いただき、実行していただく必要があります。



しかし、近年はスタッフの負担増加等も影響し、6月の環境月間内と11月のエコドライブ推進月間内にそれぞれ（年2回）開催していた中国運輸局と日本自動車連盟（JAF）の共催によるエコドライブ講習会は、平成27年度より年1回の開催となりました。

ひとりでも多くの方にエコドライブを身につけて実践していただけるように、講習会の開催時期や会場、講習会の内容について検討が必要です。

【28年度施策】

エコドライブには交通の流れを乱さない効果もあり、安全運転や交通の円滑化にも繋がります。省燃費運転のポイントを学び、実践することにより、30%もの燃費向上を体感された参加者もいらっしゃいます。

トラックやバスなどの運送事業者の間では、交通安全教育と省燃費による経営コスト削減の観点から、エコドライブの取り組みが広がっています。しかし、一般ドライバーの間にエコドライブが十分に広がっているとは言えません。

エコカーの普及だけに頼ってはいは、運輸部門の環境対策は浸透しません。燃料を大切に使う心掛けが重要です。

エコドライブ普及のためには、エコカーの普及と併せたハード・ソフト両面からの取組みが必要になります。

今後も、関係団体と連携しながら積極的な啓発に努め、講習会へひとりでも多くの方に参加していただけるよう、効果的な呼びかけを工夫するなどし、エコドライブの普及に取り組めます。

